

芭蕉俳諧からの教え

愛知県退職校長会会長

太田 弘

芭蕉俳諧の基本となる考え方の一つに「不易流行」があります。

不易は時代によって変わらぬものであり、流行は時代と共に変わっていくものであるとし、この二つがもつ根本は同じであって、芸術はこの両面を備えてはじめて真の芸術として完成するものだとしています。

去来抄に「不易流行の事は、万事にわたるなり」と記されていますがこのことは、教育にも通ずるといえます。つまり、過去の形式だけにとらわれていては形骸化をたもたすにとどまり、実質的な進歩を生み出す結果とはなりにくいと考えます。

「人を導きて善良ならしむるは、多識ならしむるに比すれば、更に緊要なりとす……教員たる者は常に己が身をもって模範となり、生徒をして徳性に薫染し善行に感化せしめんことを務むべし……」

これは、明治十四年六月に文部省が出した通達第十九号「小学校教員心得」の一部です。

更にこの心得は、「学校を統率するは殊に剛毅、忍耐、威重、懇誠、勉励等の諸徳に由るべし……」とし、「学識を広め経験を積むは、其職業の光沢を増す所以なり」と結んでいます。

全十六項目に及ぶ心得は、当時の小学校教員が勤務する上で必要とする全てが網羅されており、これが徹底できていたこともあって我国の教育は高い水準が保たれていたといえます。

ところで、第二次大戦後、新しい教育の基本を確立するために、教育基本法が制定されました。以来五十余年にわたり、我国の教育は、名実共に時代をリードし、相應の評価を得ましたものの、一方では二十世紀後半から今日にかけて、様々な問題に遭遇することとなりました。現在、それ等の解決に向け多方面から対策が進められておりますが、この際、「小学校教員心得」の考え方に、俳人芭蕉の俳諧への理念でもある「不易流行」の精神を段階的に取り入れるなど、斬新な発想をもって、当面している教育的課題の解決のため、積極的に取り組んでみてはいかがなものでしょうか。

平成十五年度 退職校長会総会報告

本年度の総会が、三月十八日不二パークホテルにおいて、正副会長を始め各支部長等三十六名の出席を得て開催されました。

柳澤副会長の開会のことばに続いて太田会長から、「……十年目の節目に当たる昨年度は、組織の充実・発展のため臨時総会をもって会則等の改正をしていただき、骨太の会へ大きく一步を踏み出すことができました。厳しい教育環境の昨今、退職校長会の存在意義を示す活動を展開していきたい。」と、あいさつがありました。

続いて、太田会長を議長に、以下の議事が審議され、可決承認されました。

・平成十四年度 会務報告及び決算報告と監査報告

・平成十五年度 年間計画及び予算案

・平成十五年度 役員選出

なお、会長には前年度に引き続き太田弘氏が指名され、新しい組織が発足しました。そして、旧役員の代表柳澤副会長から本会での思い出とお礼のごあいさつが、新役員の代表三林副会長から新たな抱負と決意のごあいさつがありました。

最後に安藤副会長が「形ではなく、中味の充実を図っていきたい。」と閉会宣言をされ、滞りなく総会を終了いたしました。

新たな十年へのスタート(会務報告)

- 。中村会長から太田会長へのバトンパス
十四年度総会 三月十八日
- 。両会長あいさつを掲載の県会報六号発刊
四月十五日
- 。課題一杯の全連退総会 六月十一日東京
- 。太田会長、中嶋副会長、間井監事出席
- 。組織の見直し・臨時総会の開催等検討の
正副会長・常任理事会 八月八日
- 。各県の熱い情報交換 東陸地区協議会
十月十八日・十九日岐阜
- 。太田会長、柳澤副会長出席
- 。『平成三年の東陸愛知大会は、資金・会
員不足で大変、翌年現在の退職校長会を
結成する動きが出てきた。』と会長あい
さつの正副会長・常任理事会十一月七日
- 。組織の充実、拡大を願っての臨時総会
十一月七日
- 。県会報七号発刊 十一月十八日
- 。会長による、新しい規約での入会のお願
い 県小中学校長会理事会で十二月六日
- 。平成十五年役員選考委員会一月十六日
- 。総会に向けての正副会長・常任理事会、
並びに会計監査会 三月四日
- 。『十一回目になる総会』と会長あいさつ
でスタートの平成十五年度総会(支部長
会) 三月十八日

平成十五年度 役員 一覧

会 長(尾 張)	太田 弘
副会長(尾 張)	間井 清
(名古屋)	横井 新治・三林 貞夫
(三 河)	安藤 和夫・岩間 敏和
支部長(尾 張)	鳥居 隆弘
(名古屋)	高取 隆吉
(三 河)	佐々木忠允
理 事(○印常任理事)	
(尾 張)	吉田 俊彦・横井 隆
	佐藤 征生・加藤 善章
	濱田 健
(名古屋)	青木 一・森川 肇
	大橋 隆行・内田 久幸
	猪飼 淳三
(三 河)	野田 正美・牧野 茂昭
	○安藤 公明・近藤 博司
	安藤 求
監 事(尾 張)	服部 義逸
(名古屋)	佐藤 正信
(三 河)	藤井 幸彦
副支部長(尾 張)	大野 雅夫・高木 久嗣
(名古屋)	工藤 道臣・加藤 友昭
(三 河)	加藤 勤・大井 嘉雄

現職校長会情報

現職校長会は、五月十四日、県芸術劇場で総会が開かれ、中川正明氏(西春小)の会長就任を承認し、新たなスタートをしました。エールを送ります。

平成十二年度加入者各位へ

全連退会報等送付期限満了のお知らせ

平成十二年度当初に、本会にご加入いただきました各位におかれましては、各般にわたりご活躍されておられることに対し心より敬意を表するものであります。

さて、ご入会の折にご連絡しましたように「会報」等の送付期間(三年間)が満了となりましたのでお知らせ申し上げます。

ご協力、誠にありがとうございます。

なお、会則により、引続き会員資格は継続されますことを申し添えます。

会員各位の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

あとがき

退職校長会『会報』第八号ができあがりましてので、お送りします。

☎052-261-1811

名古屋市中区新栄一の四九の一〇
愛知県教育会館六階

☎052-261-1811
Fax 052-261-1811